



小白浜地区

発行：平成31年3月
発行元：釜石市復興推進本部

復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

撓まず 屈せず がんばろう釜石!!

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました



開催日	平成31年2月24日(日)
時間	14:00~15:27
場所	唐丹地区生活応援センター
参加人数	45人

議題	1. 本日の主旨とこれまでの経緯 2. 最新の土地利用計画について 3. 公園環境整備(案)について 4. 仮設グラウンド取り扱いについて 5. 消防屯所について 6. 今後の工事スケジュールについて	7. 住宅再建に係る補助制度について 8. 防潮堤について 9. 意見交換
----	---	---

当日はこれらの議題について担当より説明いたしました。出席された皆さまからは、公園環境整備(案)や防潮堤について等々のご意見、ご質問をいただきました。

議題の概要

最新の土地利用計画について

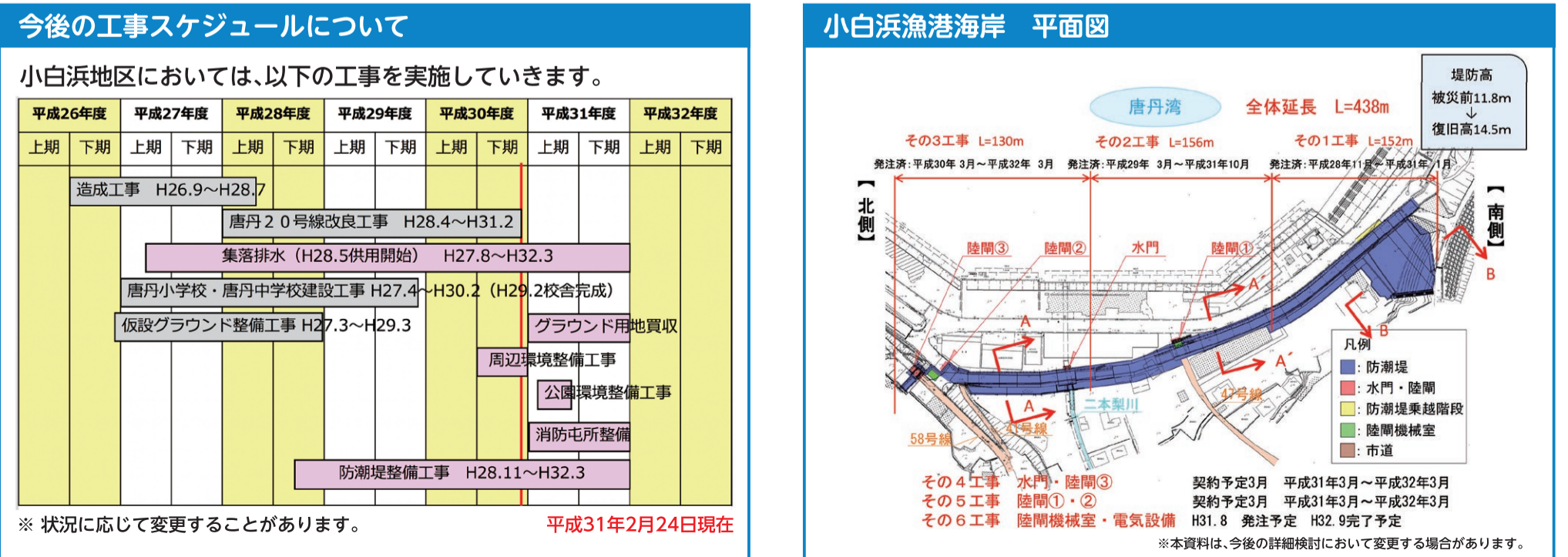
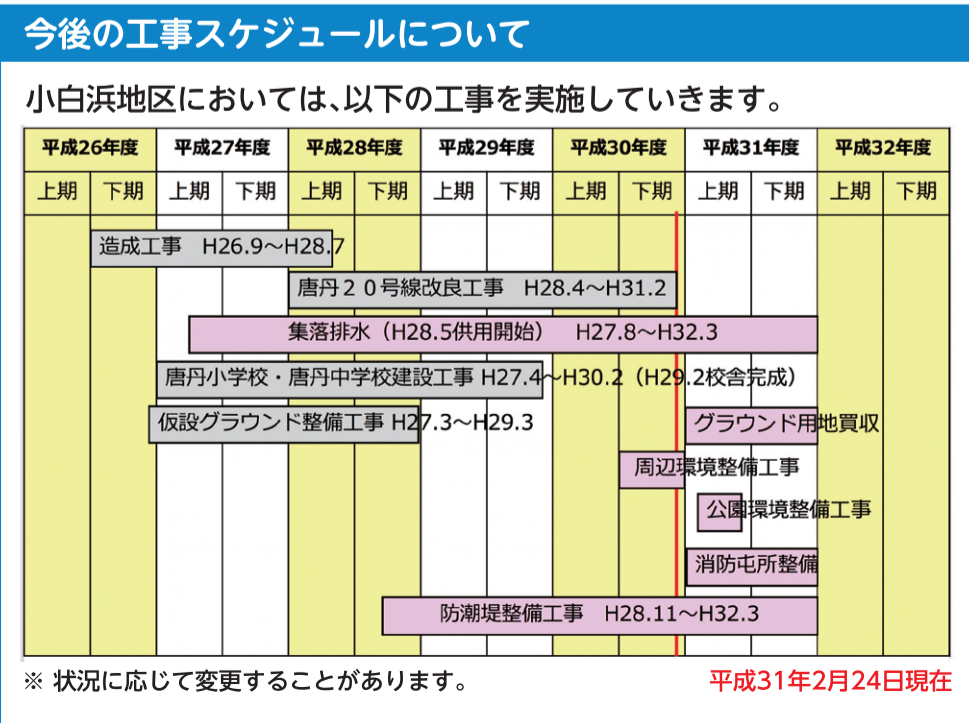


最新の地区全体図

仮設グラウンド取り扱いについて

グラウンドについては、今後、本設グラウンドとして用地買収を実施していく予定です。

※グラウンドの範囲は、今後の検討により変更することがあります。



このようなご意見・ご質問をいただきました



小白浜東地区の公園環境整備案において、植樹の計画があるが、木が大きくなり育った時に風の回りがどうなるのかを心配している。万が一何かあったときの対応も含め、公園の植樹はやめてほしい。

近隣に住まわれている方々と再度お話をさせていただいた上で、どの程度整備するかを決めさせていただきたいと考えております。

小白浜東地区のごみ箱の設置が1基となっているが、時期によって入らない時があるので、もう1つ増やしてもらいたい。

ごみ箱の設置基数の基準はおおよそ10戸に1基となっており、小白浜東地区の戸数から考えると1基となりますので、増やす見込みはないかと思えます。担当の環境課に今回のご意見をお伝えしますが、追加は難しいと思われそうです。

小白浜東地区の法面中段にある水路にごみ物が溜まっていると思われる。台風の時等、湧き水が大量に出た場合心配なので、水路に蓋をしてはどうか。

水路に蓋があると、法面全体から流れてくる水が側溝に入らず下に流れていく可能性があるため、水路には蓋をつけず、水を受けやすいように整備しております。

集落排水工事を平成32年3月まで行うことに計画となっているが、各自の工事はいつまでに終わらせなければならないのか。また、現在の小白浜地区の集落排水の利用率はどのくらいかを教えてほしい。

事業計画書上、平成31年度(平成32年3月)の完成を目指し工事を行っております。万が一遅れた場合は、工事全体の期間である平成32年度までとなるかと考えます。また、集落排水の利用率につきましては、後日改めて回答させていただきます。

唐丹20号線について、当初は水門まで道路を作ると聞いていたが、現在途中で止まっている。水門の工事と同時にまた工事は行われるのか。

今のところ、計画はございません。

来年度、本グラウンドとしての用地買収が行われるということだが、グラウンドにかかわる分だけの土地の買収なのか。周辺の土地も一緒に買い上げてもらえないのか。

現在仮設グラウンドとして利用している部分のみの買収となります。

陸間に通る市道41号線は、その道路を通過して海岸に出られるようになるのか。

市道41号線から北側の陸間を通り、海岸へ出ることはできます。ただし、道路の拡幅は行いませんので、軽トラックが通れる程度の道路幅となります。

新しい団地にごみ箱が設置されたが、現在各町内会で使用しているごみ箱は自分たちでお金を出し合っている。老朽化しており、新設しなければならないが、市からの補助は出してもらえないのか。

新しい団地に設置したごみ箱は、被災者の復旧ということで整備しておりますので、もともとあるごみ箱を単に新設するにあたっての補助金は難しいかと思われそうです。市の取り組みとしては、ごみ集積所の集約化(複数のごみ箱を1箇所にとめる)による新たなごみ箱の購入に対し補助を行っております。

小白浜海岸防潮堤北側の陸間につながる市道41号線の拡幅はないとのことだったが、これまで北側の陸間に抜けていた道路が通れなくなるので、市道41号線をきちんと舗装して立派にしたい。

現場を確認し、修繕が必要な箇所は修繕を行います。基本は、現状のまま通し、必要に応じて補修を行っていきたくと考えております。現状の通行止めを復旧させる際に、防潮堤近くは改めて県とも協議し、検討してまいりたいと考えております。

唐丹20号線と国道45号のT字路にはカーブミラーも信号もないのだが、安全面を考慮しそれらを設置してほしい。

平成28年度から警察とも協議をしており、通学路としての使用も含め、横断歩道や信号機の設置を考えておりましたが、通学路に関しては、交通量の少ない別ルートを通ってほしいということになっております。また、三陸道の開通に伴い、国道45号の通行量が変わることが想定されますので、経過をみて検討することになっております。カーブミラーに関しては、道路の設計上不必要と考えておりますが、通行が危ないということであれば、改めて検討してまいりたいと考えております。

復興事業については、可能な限り皆さまの期待に応えられるよう進めていきたいと考えております。

1日も早い復興事業の完了に向け、今後も全力で取り組んで参りますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



復興計画の事業進捗等については、「広報かまいし」や市のホームページでも公開しております。併せてご覧ください
<http://www.city.kamaishi.iwate.jp>

協議会等に関するお問い合わせ

釜石市復興推進本部 TEL:0193-27-8479
FAX:0193-22-2686